



Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバの管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバについて \(1 ページ\)](#)
- [Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバのアーキテクチャの概要 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco IMC Supervisor と Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバ \(3 ページ\)](#)
- [ラックアカウントの追加 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco UCS S3260 ラックサーバの管理 \(4 ページ\)](#)
- [ポリシーとプロファイル \(7 ページ\)](#)
- [ファームウェアのアップグレード \(8 ページ\)](#)
- [Viewing Cisco UCS S3260 Dense Storage Rack Server Details \(8 ページ\)](#)

Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバについて

Cisco UCS S3260 は、デュアルサーバノードをサポートする高密度ストレージラックサーバです。また、ビッグデータ、クラウド、オブジェクトストレージ、コンテンツデリバリーなどの環境で使用される大規模データセット用に1つのサーバを最適化することもできます。これは、Cisco UCS C シリーズラックマウントサーバ製品ファミリに属しています。

Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバは、Cisco Unified Computing System と Cisco IMC Supervisor の統合の一部としてスタンドアロン環境で動作するように設計されています。Cisco UCS S3260 高密度ストレージラックサーバには、次の機能が含まれています。

- 冗長ディスクアレイ (RAID) および Just a Bunch Of Disks (JBOD) の全機能とのエンタープライズクラスの冗長性
- スタンドアロンの管理インターフェイス (Cisco Integrated Management Controller)
- サーバノードの交換やアップグレード時にデータ移行が不要
- 奥行きが深いラックが不要

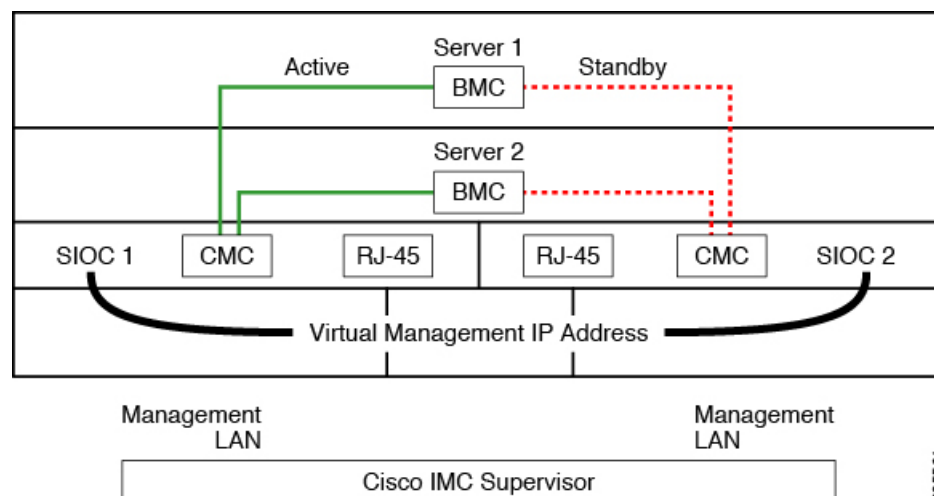
Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバの詳細については、『[Cisco UCS S3260 Rack Server](#)』を参照してください。

Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバのアーキテクチャの概要

アーキテクチャの概要

Cisco UCS S3260 は、Cisco のブレードテクノロジーに関する専門知識を活かしたモジュール型サーバアーキテクチャを採用しており、システム内のコンピュータまたはネットワークノードをアップグレードする場合でも、別のシステムにデータを移行することなくアップグレードできます。次の機能を備えています。

- デュアルサーバノード
- サーバノードあたり最大 24 のコンピューティングコア
- サーバノードあたり最大 60 台の混合ドライブ (Large Form Factor (LFF) と最大 14 台のソリッドステートディスク (SSD) ドライブ、および 2 台の SSD SATA ブートドライブ)
- サーバノードあたり最大 512 GB のメモリ (合計 1 テラバイト [TB])
- 12 Gbps の Serial Attached SCSI (SAS) ドライブのサポート
- デュアルポート 40 Gbps をサポートする、Cisco VIC 1300 シリーズのチップを内蔵したシステム I/O コントローラ
- ツール不要なサーバノード、システム I/O コントローラ、使いやすいラッチ構造、ホットスワップおよびホットプラグ可能なコンポーネントで実現する高い信頼性、可用性、有用性 (RAS) の機能



305561

このシステムは、シャーシ管理コントローラ（CMC）を使用してサーバノードを管理します。各システム I/O コントローラ（SIOC）モジュールには、内蔵型 CMC が組み込まれています。2つの SIOC を使用する場合、2つの CMC がアクティブ/スタンバイ構成で機能します。Cisco IMC インターフェイスでログインしている SIOC 内の CMC がアクティブ CMC になります。アクティブ CMC を使用して、両方のサーバノードの BMC を管理できます。

Cisco IMC インターフェイスを使用してサーバノードの BMC を管理するためにシステムに接続する場合、SIOC 上の管理ポート（RJ-45）に物理的に接続することになります。Cisco IMC インターフェイスにログインするときは、その SIOC 内の CMC に割り当てられている仮想的な管理 IP アドレスを使用します。

すべてのユーザインターフェイスは、アクティブ CMC でのみ動作します。構成の変更は、アクティブ CMC とスタンバイ CMC の間で自動的に同期されます。

システムの電源を再投入すると、デフォルトで SIOC 1 内の CMC がアクティブ CMC になります。次のいずれかの条件が発生すると、アクティブ CMC はスタンバイ CMC にフェールオーバーします。

- アクティブ CMC のリブートまたは障害が発生した場合。
- アクティブ CMC を持つ SIOC が取り外された場合。
- アクティブ CMC でネットワーク接続が失われた場合。

S3260 ラック サーバの設定については、『[Cisco UCS S3260 Rack Server Specification Sheet](#)』を参照してください。

Cisco IMC Supervisor と Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバ

Cisco IMC のスーパーバイザ マネージド高密度ストレージラック サーバは C シリーズ ラックサーバとともにすべての機能をサポートします。また、これらの機能に追加のレポートを提供し、概念は、次の項で詳細述べられます。

- 概要：Cisco UCS S3260 のアーキテクチャと、Cisco IMC Supervisor により Cisco UCS S3260 が管理される際の接続について詳しく説明します。
- ラック アカウントの追加—説明し、Cisco UCS 3260 シャーシ ラック アカウントの追加についての詳細情報が表示されます。
- シャーシの管理—説明し、高密度ストレージラック シャーシの構文に関する詳細情報が表示されます。
- ポリシーとプロファイル—説明し、Cisco UCS の詳細情報が 3260 シャーシ ポリシーと関連プロファイル提供します。
- ファームウェアのアップグレード：シャーシファームウェアパッケージと、ファームウェアを手動で更新できる Cisco UCS S3260 のエンドポイントについて詳しく説明します。

- Cisco UCS S3260 ラック サーバの詳細の表示：PSU、VIC アダプタ、シャーシの概要、SAS エクスパンダなどの詳細情報を表示します。

ラック アカウントの追加

ラック アカウントを追加するために、[Server IP] フィールドに仮想的な管理 IP を指定することができます。ラック アカウントの詳細については、[ラック アカウントの追加](#)を参照してください。[Rack Servers (ラック サーバ)] タブからのインベントリ収集後に、Cisco UCS S3260 ラック サーバが管理するサーバを確認できます。



(注) CMC 1 または CMC 2 IPアドレスを追加すると、エラーが発生します。

Cisco UCS S3260 ラック サーバの管理

シャーシ管理コントローラの再起動

手順

- ステップ 1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。
- ステップ 2 [Rack Groups] ページで、[Chassis] をクリックします。
- ステップ 3 [Reboot CMC] をクリックします。
- ステップ 4 [Reboot Chassis Management Controller (シャーシ管理コントローラの再起動)] ウィンドウで、[CMC1] または [CMC2] のいずれかを選択します。
- ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。
選択したシャーシが再起動します。

Cisco UCS S3260 ラック サーバのアセットのタグ付け

アセット タグは、サーバのユーザー定義タグです。[Asset Tag (アセット タグ)] オプションを使用し、Cisco IMC Supervisor で Cisco IMC サーバ プロパティを追加できます。

ラック サーバとシャーシの両方でアセットをタグ付けできます。ラック マウント サーバのアセットにタグを付けるには、[ラック マウント サーバのアセットのタグ付け](#)を参照してください。シャーシのアセットにタグを付けるには、次の手順を実行します。

始める前に

サーバはすでに、ラック アカウントとしてラック グループに追加されています。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。

ステップ 2 [Rack Groups] ページで、[Chassis] をクリックします。

(注) また、[Inventory and Fault Status (インベントリと障害のステータス)] ペインの [Rack Groups (ラック グループ)] でサブ グループを選択することもできます。

ステップ 3 シャーシのリストから、タグを付けるシャーシを選択します。

ステップ 4 [More Actions (その他の操作)] ドロップダウンリストから [Asset Tag (アセット タグ)] を選択します。

(注) リストからサーバを選択するまでは、[Asset Tag (アセット タグ)] オプションは表示されません。

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

(注) [Asset Tag (アセット タグ)] オプションは、Cisco IMCリリース 3.0.(1c) 以降でのみ使用可能です。これよりも古いバージョンのプラットフォームでは、[Rack Groups (ラック グループ)] ページの [Asset Tag (アセット タグ)] カラムは空白になります。

Cisco UCS C3260 ラック サーバのフロント ロケータ LED の設定

サーバロケータ LED を使用すると、データセンター内の多数のサーバ間で特定のサーバを識別できます。選択したシャーシの前面ロケータ LED を点灯または消灯するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。

ステップ 2 [Rack Groups] ページで、[Chassis] をクリックします。

ステップ 3 [Front Locator LED] をクリックします。

ステップ 4 [Turn the Front Locator LED for selected chassis on/off] ドロップダウンリストから、[ON] または [OFF] を選択します。

ステップ 5 [送信 (Submit)] をクリックします。

Cisco UCS S3260 ラック サーバのタグの管理

タグは、オブジェクト（リソース グループ、Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバ、ラックマウントサーバなど）にラベルを割り当てる場合に使用されます。タグは、ラックの位置、担当サポート グループ、目的、またはオペレーティング システムなどの情報を提供するために使用できます。Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバまたはラックマウントサーバのタグの追加と変更については、[ラックマウントサーバのタグの管理](#)を参照してください。



(注) サーバのタグを管理できるのは、サーバがラック グループ内にラック アカウントとして含まれている場合だけです。

Cisco UCS S3260 ラック サーバのタグの追加

タグgingは、リソース グループまたはラック サーバなどのオブジェクトにラベルを割り当てるために使用されます。タグは、ラックの位置、担当サポート グループ、目的、またはオペレーティング システムなどの情報を提供するために使用できます。Cisco UCS S3260 ラックサーバにタグを追加するには、次の手順を実行します。

始める前に

サーバはすでに、ラック アカウントとしてラック グループに追加されています。



(注) 複数のラック サーバを選択することもできます。

手順

ステップ 1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。

ステップ 2 [Add Tags] をクリックします。

(注) リストからサーバを選択するまでは、[Add Tags] ボタンは表示されません。

ステップ 3 ドロップダウン リストから [Tag Name] を選択します。

ステップ 4 ドロップダウン リストから [Tag Value] を選択します。

ステップ 5 [+] アイコンをクリックして、新しいタグを作成します。タグの作成については、[Cisco UCS S3260 ラック サーバのタグの管理 \(6 ページ\)](#)を参照してください。

(注) また、タグの詳細を編集、削除、表示することもできます。

ポリシーとプロファイル

Cisco IMC Supervisor には、シャーシ情報を追加できる Cisco UCS S3260 シャーシのポリシーとプロファイルを作成するための新しい [Cisco UCS S3260] オプションとがあります。

本書では、これらの新しいシャーシ ポリシーはユーザ管理ポリシーと呼び、既存のラック マウント サーバポリシーはコンピューティング ノード ポリシーと呼びます。差別化されたユーザ管理ポリシーとコンピューティング ノード ポリシーの一覧は、[Hardware Policies] テーブルで確認できます。ユーザ管理ポリシーのサーバプラットフォームは [Cisco UCS S3260]、コンピューティング ノード ポリシーは [All C-Series and E-Series except Cisco UCS S3260] と表示されます。

ポリシーおよびプロファイルのレポートには、ポリシーが Cisco UCS S3260 であるかどうかを示す **[Server Platform (サーバプラットフォーム)]** カラムがあります。シャーシ ポリシーは、ユーザ管理ポリシーやコンピューティング ノード ポリシーに関係なく [Cisco UCS S3260] と表示されます。他の C シリーズや E シリーズのプラットフォームまたは Cisco UCS S3260 以外のポリシーの場合、[All C-Series and E-Series except Cisco UCS S3260] と表示されます。

Cisco UCS S3260 シャーシ プロファイルまたはラックマウント サーバプロファイルを作成できます。コンピューティング ノード ポリシーを選択すると、ポリシーを適用するサーバ ノードを選択できます。

ポリシーの適用

作成したポリシーを適用するには、Cisco UCS 3260 ラック サーバとラックマウント サーバのリストから選択します。選択したサーバプラットフォームに基づき、Cisco UCS S3260 シャーシまたはラックマウント サーバを選択できます。ポリシーの作成および適用の詳細については、[ハードウェア ポリシー](#)を参照してください。

次のポリシーは、ユーザ管理ポリシーとコンピューティング ノード ポリシーです。

ユーザ管理ポリシー	コンピューティング ノード ポリシー
ユーザ	BIOS
SNMP	Precision Boot Order
LDAP	RAID
NTP	KVM
ネットワーク セキュリティ	vmedia
SSH	VIC
NTP	Serial Over LAN



- (注)
- Cisco UCS 3260 ラック サーバの場合、IPMI Over LAN およびネットワーク ポリシーには、BMC と CMC の両方の構成の詳細が混在しています。
 - ゾーン分割ポリシーは、Cisco UCS 3260 ラック サーバにのみ適用可能なため、UI の [Cisco UCS S3260] チェック ボックスはオンになっています。
 - レガシー ブート順序および Flex Flash のポリシーは、Cisco UCS 3260 ラック サーバには適用できません。

プロファイルの適用

作成した Cisco UCS S3260 プロファイルを適用するには、Cisco UCS 3260 ラック サーバのリストから選択します。Cisco UCS S3260 シャーシのみ選択でき、Cisco UCS S3260 ポリシーのみプロファイルに追加できます。コンピューティング ノード ポリシーの場合は、**[Apply Policy To (ポリシーの割り当て先)]** フィールドを選択して、プロファイル適用時にポリシーを適用する必要があるサーバノードを示すことができます。プロファイルの作成および適用の詳細については、[ハードウェア プロファイル](#)を参照してください。

ファームウェアのアップグレード

Cisco IMC Supervisor ファームウェアのアップグレードはサーバレベルで実行できます。ただし、サーバのアップグレード時に、そのサーバに関連付けられているシャーシコンポーネントおよびハードディスク ドライブ コンポーネントもアップグレードされます。サーバをアップグレードする場合、シャーシとディスク ドライブのファームウェアが自動的に更新されます。ファームウェアのアップグレードの詳細については、[ファームウェアのアップグレード](#)を参照してください。



- (注) 一度に 1 つのサーバ ノードのみアップグレードできます。

Viewing Cisco UCS S3260 Dense Storage Rack Server Details

Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバの詳細 (PSU、VIC アダプタ、シャーシの概要、SAS エクспанダなど) を表示するには、次の手順を実行します。

始める前に

サーバがラック アカウントとしてラック グループに追加されていることを確認します。

手順

- ステップ 1 [Systems] > [Inventory and Fault Status] を選択します。
- ステップ 2 [Rack Groups (ラック グループ)] を展開し、Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバが含まれているラック グループを選択します。
- ステップ 3 [Rack Groups] ページで、[Chassis] をクリックします。
- ステップ 4 リストで Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバをダブルクリックして詳細を表示するか、またはリストで Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバをクリックして [View Details (詳細の表示)] を選択します。

(注) リストで Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバを選択するまでは、[View Details (詳細の表示)] オプションは表示されません。

Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバに関する次の詳細が表示されます。

タブ	説明
[PSUs]	サーバで使用されている電源装置の詳細。 (注) Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバには適用されません。
[VIC Adapters]	サーバで使用されている VIC アダプタの詳細。 リストにある任意の VIC アダプタを選択して [View Details] をクリックすると、[External Ethernet Interfaces] や [VM FEXs] などの情報が表示されます。
コミュニケーション	HTTP、HTTPS、SSH、IPMI Over LAN、NTP、SNMP などのプロトコルの情報。
[Remote Presence]	vKVM、Serial over LAN、vMedia の詳細。
障害 (Fault)	サーバで記録された障害の詳細。
Users	デフォルトグループのユーザーに関する詳細。ユーザーポリシーおよびパスワードの有効期限ポリシーの作成時に設定した強力なパスワードポリシーとパスワード有効期限の詳細も確認できます。ユーザーポリシーおよびパスワードの有効期限ポリシーを参照してください。 (注) <ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバには適用されません。 • シャーシレベルでユーザーを表示できますが、サーバレベルでは表示できません。

タブ	説明
Cisco IMC ログ	サーバの Cisco IMC ログの詳細。 (注) Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバには適用されません。
システム イベント ログ	サーバ ログの詳細。 (注) Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバには適用されません。
障害履歴	サーバで発生した障害の履歴情報。
[Tech Support]	ファイル名、宛先タイプ、アップロードのステータスなどのテクニカルサポート ログ ファイルに関する詳細は、[Tech Support] テーブルに表示されます。 リモートサーバまたはローカルの Cisco IMC Supervisor アプライアンスへテクニカルサポート ログ ファイルをエクスポートするオプションがあります。エクスポートの詳細については、 リモートサーバへのテクニカルサポート データのエクスポート を参照してください。 (注) Cisco UCS S3260 高密度ストレージラック サーバには適用されません。
[Associated Hardware Profiles]	ハードウェア プロファイルに関連付けられているポリシーの詳細。
[Chassis Summary]	CMC 1 ネットワーク、共通、NIC などのプロパティの要約。
[Rack Servers]	ホスト名、IP アドレス、接続ステータスなどのラック サーバの詳細。
[System IO Controller]	IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェア バージョンなどの詳細。
SAS エクスパンダ	ID、SAS 名、ファームウェア バージョンなどの詳細。
ゾーニング	状態、プレゼンス、所有権、サイズなどの詳細。

ステップ 5 右端の [Back] ボタンをクリックして前のウィンドウに戻ります。